

#### 6.4. 下刈りの生産性とコスト

平成 28 年度に植栽した 3 地域 7 箇所（宮崎県都城市の大苗含む）における、下刈りの生産性とコストについて整理した。また、下刈り施業金額及び生産性の平均も整理した。なお、宮崎県都城市については下刈りを実施していないが、下刈り施業金額についてヒアリング調査を実施し、参考値を記載した。

地域名	人工数 (純人工)	施業面積 (ha)	生産性 (人日/ha)	施業総額 (円)	金額 (円/ha)
茨城県日立市(国有林)	10.67	1.59	6.71	453,600	285,283
茨城県日立市(民有林)	8.40	1.03	8.16	264,682	256,973
岐阜県高山市(民有林)	4.87	0.90	5.41	379,378	421,531
岐阜県高山市(民有林)	7.07	1.00	7.07	379,378	379,378
岡山県吉備中央郡(国有林)	8.27	0.86	9.61	201,960	234,837
高知県四万十町(国有林)	6.00	0.98	6.12	168,806	172,251
宮崎県都城市(国有林)	-	1.20	-	266,158*	221,798

\*H29の下刈りは未実施のため、参考価格

ha当たりの施業金額平均	
関東地方	335,791 円
中四国地方	203,544 円
ha当たりの生産性平均	
関東地方	7 人日/ha
中四国地方	8 人日/ha

下刈りの平均生産性は、林野庁参考値の 14.25 人日/ha と比較すると、全ての地域で非常に高い生産性となった。

ha 当たりコストは、諸経費込みの施業金額で、関東地方で約 34 万円、中四国地方で約 20 万円であり、中四国地方の施業金額が安い結果となった。単位面積当たりで最も施業金額が高かったのは岐阜県高山市（カラマツ）であり、ついで岐阜県高山市（ヒノキ）であった。また、単位面積当たりで最も施業金額が安かったのが、7 地域で最も急傾斜地である高知県四万十町であった。